世界史B 近現代　34.大戦間期　ドイツ ①

【第一次大戦の結果】

┌(　　)1諸国の指導的地位の低下

英・独・仏など⇒経済復興おくれる。賠償と戦債→対アメリカ

├旧帝国崩壊⇒　ドイツ　　・　オーストリア　・　ロシア　　・　トルコ

消滅　[ホーエンツォレルン・　　・　ロマノフ　・　　]2王家

├[　　]3 =最大の債権国と[　　]4 =社会主義大国⇒指導的国家に。

├「社会主義国家」の登場

├新しい民族国家の成立=ヨーロッパ=と独立運動=アジア・アフリカ=

├国連の創設、軍縮の理念←戦争の再来を防ぐため。

└(　　)5の社会進出、地位向上←大戦で男性が戦場に駆り出されたことによる。

[女性参政権]

1893 [　　]6　1902　オーストラリア　1906 [　　]7

1913　ノルウェー　　1915　デンマーク　　1917　ソ連　　1918　カナダ

1919　オーストリア・オランダ・スウェーデン・ドイツ・ポーランド

1920 [　　]8　　1924 [　　]9=アジア初　　1928　イギリス

【大戦間期のヨーロッパ】

1914年=17の(　　)10国と3つの(　　)11国⇒1919年=13の君主国と13の共和国

1919年「**民主主義の勝利**」⇒「(　　**)12の樹立**」⇒1939年再度の**世界(　　)13**

(イタリア =1922年ファシスト政権　ドイツ=1933年ナチス政権　日本=1940年三国同盟)

1, ドイツ ①　1918年11月　**ドイツ革命→**(　　)14宣言　臨時政府=首班エーベルト

1919年 1月　(　　**)15団の蜂起**❖a

→臨時政府は「**ドイツ**(　　)**16軍**」❖bにより鎮圧(ルクセンブルク、リープクネヒトら殺害)

❖a---独立社会民主党出身の警察長官解任に対し1月5日から12日のゼネストと付随した武装蜂起。

❖b---敗戦、共和制、社会主義に反感をもつ復員兵士部隊。20年解散。のちにナチスへと繋がる。

2月　大統領・国民議会選挙

大統領---**ドイツ社会民主党=S.P.D** 党首フリードリヒ=(　　)17❖c(任1919~25)

┌任期7年 国民が選出=(　　)18・平等・直接・秘密・男女同権

└元首。首相任命権。基本法48条「(　　**)19条項**」による強大な権限

議　会　国　　会---選挙。任期4年。　**参　議　院**---18州の代表から構成。

❖c---ハイデルベルク出身。1913年からSPD党首。修正主義のリーダー。帝国議会で開戦に参成。

7月　**ドイツ基本法**=「(　　**)20憲法**」制定→当時、もっとも民主的な憲法

┌(　　**)21問題→**ヴェルサイユ条約履行政策

└(　　**)22⇒**地主(旧貴族)、民族ブルジョワジー、国防軍→共和国政府・政策を批判

1923年1月　仏・ベルギー軍の(　　**)23=ドイツ最大の工業地帯=出兵---⇒「賠償問題」参照**

→ ┌右派を勢いづかせる。政府も炭坑労働者にストを呼びかける。

└政府は賃金補償のため紙幣を増刷→激しいインフレと経済混乱

(　　)24❖d内閣、**レンテンマルク**(1兆=1レンテン)発行→インフレ収束

→外相としてロカルノ条約(1925)、国際連盟加入 (1926) →国際社会への復帰

❖d---中道右派のドイツ人民党から1920年連立内閣へ参加。23年8月首相。ミュンヘン一揆への処遇を社会民主党が批判し連立離脱、不信任案可決され11月に辞任。29年まで外相は続けた。

11月(　　**)25一揆**

ベルリン政府掌握のためのミュンヘンからの進軍・バイエルン州政府制圧計画。

(　　)26❖e(1889~1945)指導の**ナチス=国家社会主義ドイツ労働者党**=による→失敗

❖e---オーストリア生まれ。1913年兵役を逃れるためミュンヘンに移住。第一次大戦にはバイエルンの志願兵として西部戦線で従軍し毒ガスにより負傷。1919年ナチス党に入党。1921年議長。一揆で逮捕され5年の禁固刑となるが6ヶ月で保釈された。

1925年　ナチス再建　　大統領に保守派の(　　)27❖f(任1925~34)就任

❖f---第一次大戦でドイツの司令官。タンネンベルクの戦いで勝利。のち参謀総長。帝政復古主義。

【賠償問題】

・ドイツ→英仏に賠償支払い・英仏→アメリカに(　　)28→アメリカは帳消し要求を拒む

・ヴェルサイユ条約----**2690億金マルク**。

1921年　ロンドン会議

・(　　)29金マルクに減額→当時のドイツGDPの(　　)30倍。

「10億マルクを25日以内に支払わなければ(　　)31占領」

1923年1月　仏・ベルギー軍**ルール占領**(1925年まで)　イギリス---反対、アメリカ---仲裁

⇒ドイツの生産減衰→悪性インフレと政情不安⇒経済破綻→1ドル=(　　)32マルク

1924年　(　　)33案---1928年までに54億金マルク、29年以降毎年25億金マルク

1929年　(　　)34案---総額を73億金マルクに減額。1988年まで59年間年賦。

1929年　「**世界経済恐慌**」 10月24日ニューヨク証券取引所「(　　)35の木曜日」

1931年　アメリカ大統領(　　)36モラトリアム→全ヨーロッパ戦債の支払い(　　)37

1932年　ローザンヌ会議---30億マルクの最終支払い。計200億(英仏)−530億(ドイツ)マルクを支払った

1933年　ヒトラー政権誕生⇒賠償不払い宣言

ルール出兵

	Xマルク：1USドル
7/1914	4．2：1
1/1923	17，972：1
8/1923	4，620，455：1
9/1923	98，860，000：1
10/1923	25，260，280，000：1
15/11/1923	4，200，000，000，000：1

5000億マルク札

エーベルト

ヒンデンブルク

・20　・1320億　・4兆2千億　・ルール(2)　・ヤング　・ドーズ　・ヒトラー　・エーベルト　・フーヴァー
・ワイマール　・ヨーロッパ　・ミュンヘン　・ヒンデンブルク　・スパルタクス　・シュトレーゼマン
・日本　・ソ連　・戦債　・賠償　・普通　・右派　・独裁　・共和　・暗黒　・延期　・女性　・君主
・義勇　・緊急　・大戦　・共和国